

「第66回 日本PTA
全国研究大会新潟大会」

8/24(金)
・25(土)

市Pより代表8名でいご新潟へ!!

私は全10分科会中、上越市での第1分科会に参加しました。児童数の減少で閉校し解散となったPTA組織が、現在では有志ボランティア団体として、地域に愛され必要とされる活動を実践されているという「糸魚川市立市振小学校区」の発表に強く感銘を受けました。



活き活きとした発表者たちの姿はキラキラと輝いており、私も原点に立ち返り、今一度輝きを取り戻すべく精進していこうと思いました。涙ありの学び多き2日間でした。ありがとうございました。

(熊本市PTA協議会副会長 磯田圭輔)

「第74回 指定都市PTA
情報交換会北九州大会」

9/13(木)
・14(金)

第4分科会「広報活動・読みたくなる広報誌とは?」に参加しました。

自己紹介から始まり4つのグループに分かれて各指定都市PTA新聞の現状や今後の課題をテーマに、熱い議論が交わされました。

広報誌のサイズやページ数・白黒・カラー・紙の種類など様々なパターンがあり、各指定都市のPTA新聞に対する熱い思いがよく伝わってきました。結果、どの新聞も見やすく、正解は無い!ということでした。

会員から購読料をいただいたり、



一般企業の広告を掲載しているところもありました。

みんなが読みたくなる広報誌にするため、各市とも様々な工夫をしているなど思いました。

代理での参加ではありませんでしたが、2日間とても素敵な時間でした。いっぱい涙が出た『北九州大会』でした。ありがとうございました。

PS おてもやんサンバ頑張ってきました! (熊本市PTA協議会常任理事 佐藤準一)

「学び」の大切さを実感

大会前日の「打ち合わせ会・レセプション」において、大会参加人数は約7500人と聞き、規模の大きさに驚きました。第2分科会「研修・啓発活動」でも約1200人の数。熊本市立託麻原小学校の「PTA防災キャンプ」についての発表では、熱意ある討議が重ねられ、沢山の「学び」を得ることができました。

(健軍小学校長 下城久秀)

「予祝」が子どもを育てる

全体会は、「大人が変われば子どもが変わる。子どもが変われば未来が変わる。」と題した大嶋啓介氏(株)つべん 代表取締役の講演でした。夢の叶え方の一つとして「予祝」の効果をお話され、私たち大人が子どもたちに「大人になることに希望を持たせるようにする」と子どもたちが将来に希望を持ち、未来が変わるという内容でした。



奄美三線とご当地キャラでお出迎え♪

予祝とは、予め目標達成時の喜びを想像・動作化させることだそうです。しっかりとイメージを持つことで、夢



奄美三線とご当地キャラでお出迎え♪

「第63回 日本PTA九州ブロック研究大会鹿児島大会」に参加して

10/27(土)
・28(日)

を実現しようとする取り組み、夢が叶うということでした。私たち参加者も予祝を体験させてもらい、気持ちが一つになりました。

(出水小学校教頭 森本洋司)

災害に強い学校・地域を目指して

熊本地震の際、本校は避難所となり児童も身を寄せました。その経験を忘れず、災害時にも大人の指示を待たずに行動できる子どもを育てようと、PTA主催で小学校の施設を活用し防災キャンプを企画しました。

発表後、参加者から様々な質問や貴重なご意見をいただきましたが、あらためて大規模災害が発生した場合、家庭・学校・地域・行政の連携と平時からの災害に強い学校づくり・地域づくりについて、深く考えさせられました。



「協力いただきました全ての関係者の皆様にご心から感謝いたします。本当にありがとうございました。今後とも微力ながら子どもたちと学校、そして地域のために頑張りたいと思います。」

(託麻原小学校PTA会長 漆野和也)

日本PTA
全国協議会
国内研修事業 in 渡嘉敷村

3/27(火)〜31(土)

(公) 日本PTA全国協議会が毎年主催する国内研修事業が沖縄県渡嘉敷村にて実施されました。全国から中学3年生が集い、ワークショップや体験学習を通して島の文化や歴史に触れ、互いの交流を深める事業です。昨年度熊本市から参加した2名の感想を紹介します。

僕は、今回の研修を通して、たくさんのお話を学びました。一番はなにより「友」の大切さです。多くの仲間との活動からは、何にでも挑戦しようとする積極的な姿、また、その場に合った対応力を学びました。現地の人達との交流からは「二度と戦争を繰り返してはいけない」という平和への強い思いを感じることができました。この研修で学んだことを、自分の将来に生かしていきます。貴重な体験の機会をいただきありがとうございます。



(飽田中学校3年 村上友哉)

(下益城南中学校3年 鉄田望弥希)



地域から
始まった
PTA活動

ある日の下校時間、目にした光景に感謝でした。地域の方々が子どもたちを見守っているではありませんか!話を聞いてみると、毎日、子どもたちを見守っているとのこと。その頃の私は、フルタイムで働いていたので、地域の活動はおろか、PTA活動なんて全く別の世界の話でした。

そこで、子どもたちを見守ってくれる地域の方々に恩返ししたいという気持ちで参加したのが出水校区子どもネットワークという団体。地域の方々の後押しもあり会長として3年間の活動をしました。

その中で、3年かけてみんなで作り上げた『出水校区かるた』は地域のみなさん世界の中の人に見てもらいたい最高の傑作です。出水校区のことがたくさん詰まったかるたを出水小学校の児童に伝え、多くのことを学んで地域に愛着を持つてほしいーそんな思いで、毎年、『出水校区かるた』を使ったウォークラリーを開催しています。

学校からはPTAや親の会。地域からは自治会や社協、青少協などの団体。出水校区にある郵便局や病院、お寺などの協力もあって子どもたちへのプレゼントも盛りだくさん!年々増える地域の方々の協力のおかげで、かるたを使ったウォークラリーが地域全体に浸透しているのが実感できます!

このような企画がスムーズにできたのも熊本市PTA協議会が毎年募集しているCP(チャレンジPTA)プランなどの助成金を活用できたことが大きかったと思います。

今後ウォークラリーを通じて、子どもたちと一緒に地域を巻き込んで、出水校区に愛着が持てる企画を考えていきたいと思います。いつか、題字に込めた思いをお聞きする機会があればと思います。

(出水小学校 小崎愛季)

(財)熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ

学校管理下の事故にも対応しています。

児童生徒の皆さんが学校管理下(登下校を含む)で被災した場合であっても、死亡あるいは後遺障害、歯科保険外治療、交通事故等について、本共済からの共済金給付があります。ご加入の保護者(PTA会員)の方々が学校行事に参加中の事故にも対応しています。(卒業式、運動会、授業参観など。往復中の事故・交通事故も含みます。)

共済期間は・・・

学校などの年度に対応する1年間(4月1日から翌年3月31日まで)になります。本年度のご加入の方々の活動は3月31日までに実施されたものが共済の対象となります。

春休み期間のご注意:

春休みの4月1日以降に、本年度の学級や学年での活動が実施された場合、共済の対象とはなりません。また小学校6年生や中学校3年生が進学予定の中学校や高校での部活動などに3月中旬に参加する場合も、本年度の共済の対象とはなりませんのでご注意ください。

小学校部活動の
社会体育への移行に関して

熊本県PTA共済には現在、社会体育として小中学生を指導している非営利のスポーツ団体が、特別団体として加入できる制度があります。今後このような団体が増加することが予想されますが、現行の制度で対応することは非常に困難であることが判明しています。(現在、特別団体に関しては、共済金給付額が掛金収入を大幅に上回っている状態です)今後の対応について検討中ですので、年度末までには、現在ご加入の団体にご連絡いたします。社会体育に移行した団体におかれましては、スポーツ安全保険へのご加入をご検討ください。

熊本県PTA共済に関するご質問やご連絡は...

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。

事務局 TEL: 096-278-8811
フリーダイヤル: 0800-200-5553

熊本市PTA協議会 小・中学生総合保障制度のお知らせ

安心してお子様をご養育いただくために

「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

(学校内のケガの場合、独立行政法人 日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度)の給付とは関係なく補償されます。

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。

●制度に関するお問合せ先: 取扱代理店 株式会社コーリン
(熊本市PTA協議会保障制度事務局)
TEL: 0120-228-553 (通話料無料)
(受付時間: 平日午前9時~午後5時
土・日・祝日、年末年始を除く)

●制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

2018年12月現在の内容です。

子どもの学校生活の悩みを
誰かに相談したいときは
学校教育コンシェルジュ

じっくり話をお聞きします【秘密厳守】

<電話相談> 096-362-7171

月曜日から金曜日(祝日・年末年始は除く)
午前10時から午後6時 面談も可
熊本市こどもセンターあいぱるくまもと2F

編集後記

先日、熊本市出身の末續慎吾さんの講演「好きを貫いて生きる楽しさ」を聞く機会がありました。好きなことを好きにすること、なかなか難しいですよ。実体験を交えながらのお話を聞きながら、我が子の「好き」の芽を親が勝手に摘まないように気を付けたい!としみじみ思ったところでした。

さて、今号より題字が変わったこと、お気づきいただけましたか?大西一史熊本市長に題字作成をお願いしたところ快諾いただきました。ありがとうございます。いつか、題字に込めた思いをお聞きする機会があればと思います。

128号担当の広報委員の皆さま、

ありがとうございます。早いもので次号は今年度最終号です。色んな活動、たくさんの方の会員の声を載せたいと思います。お楽しみに!!

広報委員長 及川雅恵

128号編集委員(順不同/敬称略)

及川 雅恵(黒髪小)
安達 貴徳(山東小)
磯田 圭輔(出水南中)
猪原 政之(健軍東小)
小崎 愛季(出水小)
佐藤 準一(本荘小)
澤 克彦(秋津小)
那須 円(泉ヶ丘小)
濱洲 真剛(若葉小)
丸山 妙子(吉松小)